

なきごえ 7

JUL.

1998



CONTENTS

New Face	ツキノワテリムク	高橋雅之	②
	動物とわたし	久田舜一郎	③
カバーウォッチング	エジプトガン	高橋雅之	
	多田の空がカラスに占拠される時	平田信活	④
	インド旅行記 ゾウ使いに感心!	油家謙二	⑥
グラフZOO	動物園の赤ちゃんたち	山崎道正	⑧
From Vetroom-獣医室から	獣医診療の進歩	竹田正人	⑩
	ZOO DIARY	竹田正人	⑪
	ZOO INFO	坂本全 松岡秀和	



New Face

ツキノワテリムク

(スズメ目 ムクドリ科)

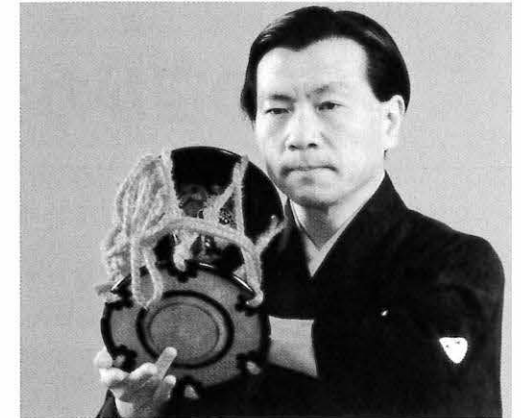
アフリカに住むムクドリの仲間です。標高3,000メートルまでのアカシアや灌木の茂るサバンナに広く生息しています。名前のとおり、胸の部分に白い月の輪のような模様があります。(撮影・文：高橋雅之)

動物とわたし

-どうぶつエッセイ-

久田 舜一郎 さん

(小鼓師)



こつづみと私と生き物

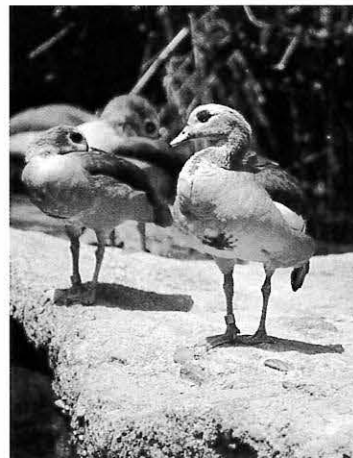
ヤアーポン ハオーポン イャァー。声を聞かせられず残念だけれど僕の演奏する「小鼓(こつづみ)」のかけ声と音です。ほとんど動物のうなり声みたいです。ハオー!! ウォー!! 小鼓は、何で作られてるかわかりますか? 二枚の皮と桜の木で彫られた筒。皮は「子馬」!!って言うけど日本でも外国でも皆「エー!!」と言って暗にかわいそう!! って気持ちが僕を責めてきます。僕の演奏の場は「能」です。楽器は「小鼓」の他に「大鼓(おおつづみ)」「太鼓(たいこ)」「笛」それに謡(うたい)(コーラス)。みんな知ってる「おひなまつり」の五人囃子(ばやし)がこれなんです!! 知ってました? 大鼓は「馬」太鼓は「牛」の皮。それぞれが「ヤォー!! ハオー!!」コーラスが「ウーウー!!」能の舞台はまるで動物園状態ですね。

能は600年以上前に生まれた世界でも最も古いミュージカルです。200曲以上あってそこには色々な神や精霊、人間そして多くの生物、と言っても龍(りゅう)、虎(とら)、狐(きつね)、鷲(さぎ)、鶴、狸(しろう)、土蜘蛛(つちぐも)、鬼、天狗(てんぐ)、鵺(うす)、そして草木の精、仙人、等と現実と空想

がまざったファンタスティックな世界です。能と一緒に上演される狂言には、猿とか牛、馬、かたつむり等もっと身近な生物も登場します。昔の人も現実を少し離れた世界に現代のスピルバーグのような楽しい夢を見たのでしょうか。

僕も子供の頃をふり返って、生物を可愛がったのは家にいた「ブギ」という犬(当時ブギという歌がはやってた。)くらいであとは「せみ取り」「トンボつり」「ざりがにつり」「かえる」や「へび」もいじめたし、こうして大人になってからも毎日毎日馬の皮をひっぱたく日々だし、趣味は「お魚つり」だし、天国には行けそうもなかなー。こうしてみると人間って生物を食べたり、いじめたり、皮を使ったり、可愛がってみたい、本当に勝手な生物ですね。でも人間だけでは生きてゆけず、持ちつ持たれつ共存して生きてることを知っていて、そこに感謝や愛情が少しあれば、色々な現実の中で、より楽しく生きやすい世界にすることができるのも人間の知恵ですね。また少しは楽しく生きてゆくお手伝いのために僕らの舞台もあります。一度「能」にも来て見て下さいね!!

(ひさだ しゅんいちろう)



Cover Watching

エジプトガン

カモ目 カモ科 *Alopochen aegyptiaca*

一昨年(1998年)の新カバ舎オープン時にカバと同居するため来園しました。最初はカバの巨体に驚いていましたが、今では落ち着いてパピルス(草むら)のそばで気持ちよさそうにひなたぼっこしています。(撮影・文：高橋雅之)

多田の空がカラスに占拠される時

川西自然教室リーダー 平田信活

私は兵庫県の東の端、清和源氏発祥の地として知られる川西市の多田盆地に住んでいます。多田の名の通り昔は田んぼばかりだったのですが、昭和40年代から周囲の丘陵地がニュータウンとして開発されはじめてより、多田の田んぼも住宅やマンションに次々と姿をかえ、大阪のベッドタウンになっています。多



人とカラスのベッドタウン。川西市多田。左の黒いところが竹ヤブ

田からですと能勢電車と阪急電車を利用すれば40分もあれば梅田へ出られますし、開発が進んだといっても猪名川や周囲の丘陵の緑もまだまだ残っています。人が塙(ねぐら)としてこの地を選ぶのはあたり前だと思うのですが、なぜかしらカラス達もこの地を塙に選んでいるのです。

22年前、いなから出て来て池田市の学生寮に住みはじめた時、多田盆地のスーパーにアルバイトに行っていた友人から「夕方になるとカラスがウジャウジャ寄ってくる」という話を聞きました。その後たまたま就職・結婚で多田の地に暮らすことになり、そのカラスの多さに度胆を抜かれました。まるでヒッチコックの映画『鳥』を見ているようでした。

さて、そのカラス達とおつきあひすることになったのはカラス達が塙にしている猪名川の竹ヤブが河川改修にともなって広範囲にわたって伐採され、「カラスの塙はどうなるのだろう」と心配になってきたからです。私の所属している川西自然教室は93年4月に「川西の身近な自然を守ろう」と結成された市民グループで、川西市内のゲンジボタルやヒメボタル・市花リンド



河川改修で竹ヤブがかなり切られた

ウ・水鳥などの調査や市内の身近な自然に親しむ活動を行なってきましたが、キラワレ者とはいえ、多田では超有名なカラスを放っておくことはない、98年1月から「多田ガラスを見る会」をスタートさせました。

第1回目は多田盆地を一望できる高台から夕方のカラス達の動きの全体像をつかもうと計画したのですが冷たい雨となり、近くを通過するカラスの数だけは数えられたのですが、遠方はかすみ、全体像をつかむことはできませんでした。

2月11日、第2回目は猪名川の塙＝竹ヤブの対岸に場所を移し、夜明け前から夕方の2回観察を行ないました。「(略)休日だというのに173号線の車の音がかかりひどい。午前5:38、その騒音にかき消されそうになりながら「カアカア」という鳴き声が耳に飛び込んできた。お目覚めか。しばらくするとあっちこっちで「カアカア」という声がかしだした。全体にひろがるかと思ったが、小さくなり、とぎれた。と思いきや、5:46、連鎖反应的に「カアカア」は拡大し始めた。5:48、「ガアガア」とにこった声も混じってきた。ハシボソガラスか？(中略) 5:54、2羽竹ヤブから南の方向へ飛び立つ。それに続いて次々と飛び立って行くが、数を数えてやろうと思っていたが暗くて数えられない。南の方へ飛んで行った。この飛び立ちを機に竹ヤブ内は「カアカア」が激しくなり、いよいよ何かおこるぞという空気になってきた。ちょうどその

ころ月が竹ヤブの中へ沈んだ。6:00、また数羽バラバラと飛び出したかと思うと何十羽かがそれに続いて南の方へ飛んでいった。その直後、竹ヤブ全体が「カアカア」となったかと思うと、超大群が竹ヤブをゆすって飛び出してきた。数を数えるなんてとても不可能。でもあてずっぽうで多田東小学校の子ども達全員が運動場に出て撮った写真よりも多い感じなので1,000羽くらいか？猪名川を越え私の頭上へ。まるでヒッチコックの映画『鳥』のようだ。「クユクユ」「バサバサ」という翼をはためかす音がほんの数メートル上から次々と聞こえてくる。その圧倒的多数にただ「うおっ」という声を発するのみ。襲われるという感じはしなかったが、映画『インディペンデンス・デー』の中に出てくるあの超デカイ円盤におおいかぶせられたような雰囲気。カラスが空をおおいつくしたという感じだった。大きなものに見据えられて身動きできず、一瞬金縛り状態になった。(後略:川西自然教室「こげらだより」51号(98.3)より)。すこし長くなりましたが以上は第2回目の朝の部の報告文でした。

夕方、カラス達は竹ヤブ周辺の丘陵やビルの屋上にいったん集合して、陽が沈み暗くなりかけた頃に竹ヤブに帰っていくのですが、素直に竹ヤブに帰らずにあちこち寄り道しながら集団で移動するので、多田盆地の夕方の空は2,000羽くらいのカラスによって占拠された状態になります。竹ヤブの塙に入る直前、400～500羽くらいの群れが竹ヤブ上空を巡回します。ツバメやムクドリの大群もすごいのですが、カラスの場合とにかく身体が大きいので迫力があります。街に住んでいると「地球は人間だけのもの」と思ってしまうのですが、このカラス達は「地球は人間だけのものではないぞ」と教えてくれているように思いました。

この第2回目の観察会での光景に感動し、最低1年間は観察会を続けることになりました。そして1年が過ぎた今も観察会は続いています。その観察の中で、塙に帰って来るカ

ラスの数は真冬には2,000羽ほどおり、3月の春分の日以降急激に数を減らし、真夏には1ヶ台になり、10月頃から急激に増加し、11月には2,000羽くらいにもどるといことがわかってきました。また、猪名川と猪名川の支流、そして広い田畑で囲まれた三角形の竹ヤブで、人も近付きにくく、竹なので野犬やキツネが登ってくる心配もなく、エサ場となる街にも近いという理由でここを塙にしたのではないかと



ヤブの中は糞(ふん)だらけ

われます。

カラスは東西南北あらゆる方向から塙に帰って来ますが、特に南(大阪方面)から帰って来るのが多いので、「人間と同じだな」と思います。また、どのあたりまで出掛けているのだろうかという疑問も湧いてきました。

カラスをつかまえて発信機をつけてというような事は川西自然教室ではとても出来そうにないので、このような誌面を通じてカラスの塙情報を集め、そこから行動範囲を推測できるのではないかと考えています。

ゴミステーションを荒したり、農作物をつついたり、レールに石を置いたり、カラスは大きくて真っ黒という姿も手伝ってキラワレ者になっていますが、観察を通じてカラスに対して親しみが湧いてきて、カラスを見かけるとつい目が向いてしまうようになってきました。これからはカラスと人間の間でいろんなトラブルが発生するでしょうが、一方的にカラスを悪と決めつけてしまうのだけは一考してほしいとカラスに興味を持つ人間として思っています。

(ひらたのぶかつ)

▲ヤブに帰るカラスたち



インド旅行記



ゾウに乗って森の中を探索しています

3月の17日から24日までの8日間、
インド旅行に行ってきました。

インドという国は人口も多いのですが、野生動物の種類も多く、旅行の目的はそれらの野生動物、特に野生のトラを見ることでした。

トラはユーラシア大陸のインドから東南アジア、シベリアにかけて広く分布しており5亜種に分けられていますが、環境破壊や密猟等で生息数は急激に減っており、現在ではおよそ5,000頭ほどだと言われています。

インドにはベンガルトラという種類が生息しており、トラの生息地の中では比較的数量が多く、およそ3,000頭ほど生息していると思われます。

私達は、インドの首都ニューデリーから車で9時間ほど揺られ、目的地であるコルベットナショナルパークという所に無事到着しましたが、こちらのドライバーはなぜか皆気が荒く、やたらとクラクションを鳴らし、狭い道でも強引に前の車を抜いて行くので、「これでよく事故が起きないものだ」と感心していました。しかし、行く途中何か道から外れ、ひっくり返っているトラックを見かけ「やっぱりな」と変に納得してしまいました。

ナショナルパークに着いた翌朝6時半より、いよいよジープに乗りトラを探しに出ましたが、朝晩の冷え込みは予想以上にきつく、私はジープの荷台に乗っていたので、車が走り

出すと寒さで体がぶるぶる震えるぐらいでした。

途中、ハヌマンラングールやカニコイザルといったサルの仲間、サンバーというシカ、インドクジャクやアジアゾウなどさまざまな動物を見ることが出来ましたが、トラに関しては足跡と糞を発見しただけで、姿を見ることは出来ませんでした。しかし一度、シカが甲高い鳴き声を出し辺りを警戒している場面に出くわし、ジープに同乗していた現地のガイドが、「トラが近くにいるかもしれない」と言うので、ジープを止めトラを



トラの糞(ふん)

探しましたが(当然ですがジープから降りずに)、結局トラは出て来ず、あきらめて出発した後、一緒に旅行に来ていた別の人達

がその場所でトラに遭遇するという、何とも惜しい思いをしたことがありました。

トラは繁殖期以外は単独で生活しており、一頭でかなり広いテリトリーを持っているので当然密度は低く、姿を見るのはむずかしいようです。

また、ジープのほかにゾウに乗っての探索も行いました。当然ゾウ使いも一緒に乗りますが、ゾウ使いはゾウの首の上に乗ります。私達はゾウの背中に置いた鞍の上に乗ります。やはりゾウの背中中は広く、一度に大人が4人も乗ることが出来ます。

初めてゾウに乗った感想は、とにかく高く、よく揺れるといったものでした。最初は気持ち悪く酔いそうでしたが、慣れてくるとだんだん見晴らしもよく、気持ちよくなってきました。ところが、そう思ったのもつかの間、今まで開けた道を歩いていたゾウが急に藪の中に入って行き、顔や体に枝がばしばし当たりだし、

ゾウ使いに感心！ 飼育課：油家謙二

のんびり景色を眺めている場合じゃなくなりました。

それにしてもゾウ使いの技術は素晴らしく、しばらくゾウ使いを集中的に観察していましたが、大きな声を出したり、激しくゾウをたたいたりする事はほとんどなく、軽くゾウの頭を手鉤でつついたりするだけで、ゾウはゾウ使いの言う事を理解しているようでした。これには本当に感心させられました。

昼間は気温が高過ぎるので、ゾウも私達も休憩していたときです。近くの川まで散歩に行くと、ゾウが川の中で横になっており、ゾウ使いがゾウの体を丁寧に洗ってやっている光景を目にしました。ゾウは気持ちよさそうにリラックスしており、「なるほど、言う事を聞かせるだけでなく、満足させる事も必要なんだな」と思いました。

旅行最終日には、デリー市内を観光し、デリー動物園も見学しました。この時、園長と話をさせていただきましたが、その中で興味深かったのは、「飼育係を新たに募集する際、ゾウ以外の動物は一般の人を採用するが、ゾウの担当を募集する時はゾウ使いの家系の人間しか採用しない」という話です。つまりインドのゾウ使いはほとんどが世襲制で、ゾウ使いがゾウにかける号令も、いわゆる「ゾウ語」というようなもので、30種類ほどあるらしいのですが、これらはすべてゾウとゾウ使いの家系の人にしかわからないそうです。そしてこのゾウ語をしゃべれないとゾウの飼育は出来ないというわけです。

やはりインドの動物園でもゾウという動物は、飼育する上で特別な扱いをしているようです。

また、実際にゾウを担当しているゾウ使い出身の飼育係の方とも話をさせていただきました。

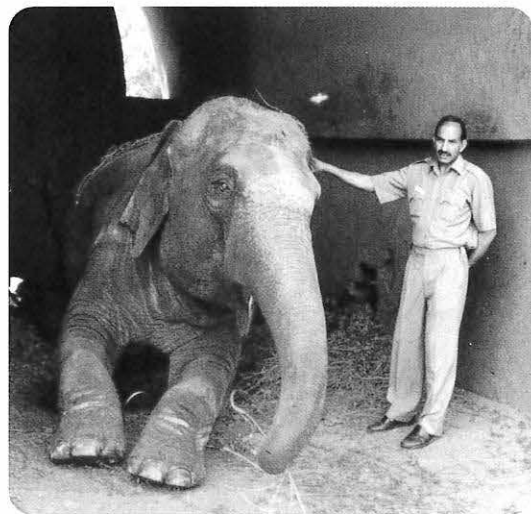
この時はインドゾウの放飼場へ入れてもらい、ゾウを目の前にして話しましたが、足はチェー



近くの川でゾウ使いがゾウの体を洗っています

ンで係留されているといっても、やはりオスのゾウは体が大きく、迫力満点でした。

実際にゾウに号令をかけ、ゾウを寝かせるのを見せてもらいましたが、耳の辺りをつかみ、何やら号令をかけると、それまで餌を食べていたゾウが実に鮮やかに横になり、ただただ感心するばかりでした。

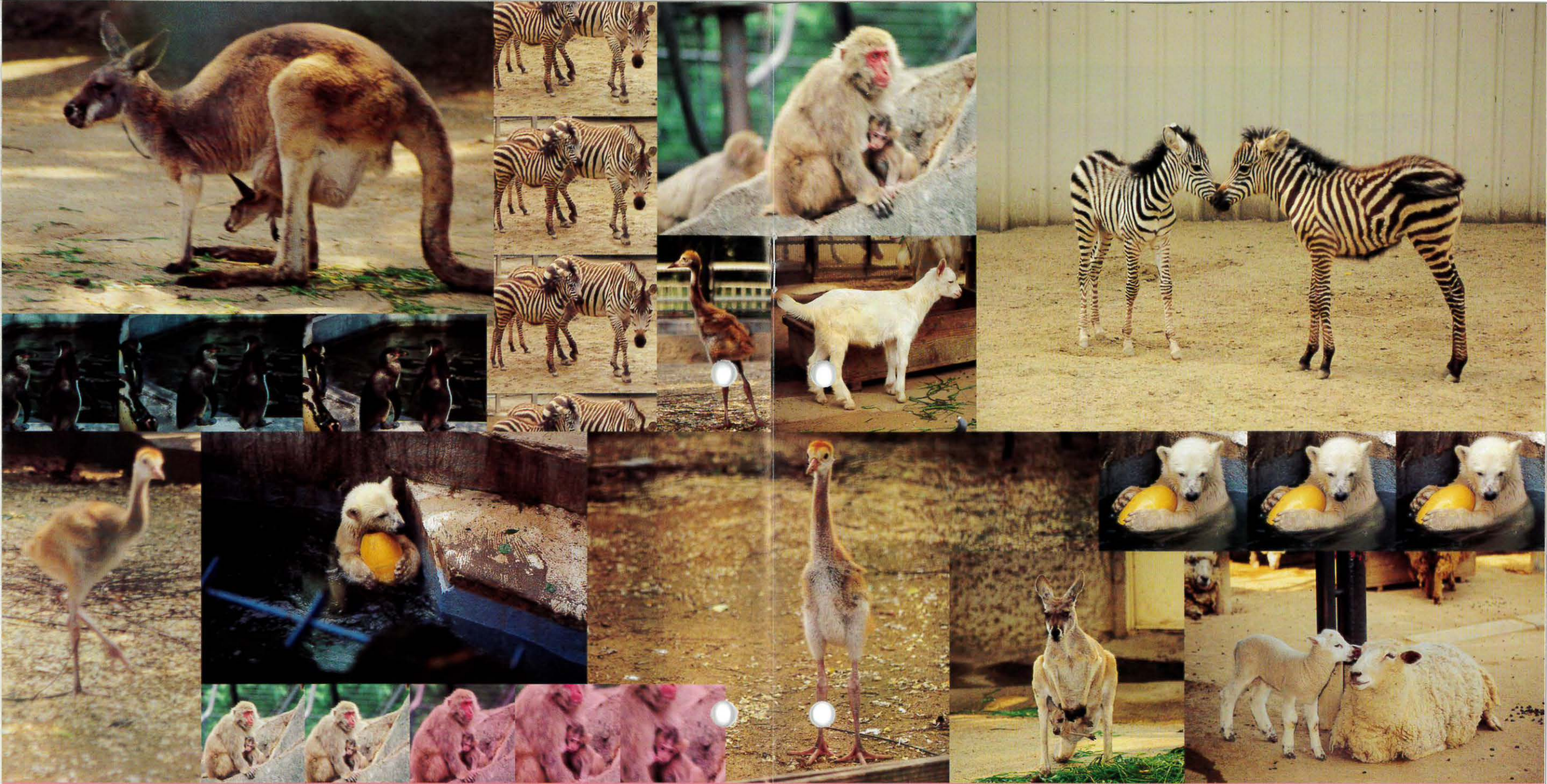


飼育係が号令をかけ、寝かせようとしています

今回の旅行で、目的の一つであるトラを見ることは出来ませんでした。私自身が飼育担当しているゾウに関しては、たくさんの貴重な情報を得ることが出来ました。(とにかく感心することが多かったのです。)

今後は私自身この旅行で経験したことを、ゾウの飼育に役立てて行ければと思っています。

(あぶらや けんじ)



動物園のあかちゃんたち

春は動物の赤ちゃんが生まれる季節です。当園でもかわいい赤ちゃんが続々誕生し、愛くるしいぐさでお母さんに甘える姿が見られるなど園内は親子の愛情でいっぱい。とてもにぎわっていますので、ぜひご覧くださいね。

飼育課:山崎正道

Graph ZOO

いろいろな動物の赤ちゃんが生まれました



グラントシマウマ

妊娠期間345～390日で1回のお産で赤ちゃんを1～2子生みます。乳房数は2個(1対)です。2～3年で大人になります。



ヤギ

妊娠期間約150日で1回のお産で赤ちゃんを1～4子生みます。乳房数は2個(1対)です。6～8カ月で大人になります。



ヒツジ

妊娠期間約150日で1回のお産で赤ちゃんを1～2子生みます。乳房数は2個(1対)です。6～8カ月で大人になります。



ニホンザル

妊娠期間約165日で1回のお産で赤ちゃんを1子生みます。乳房数は2個(1対)です。オスは5～6年、メスは4年で大人になります。



ホッキョクグマ

妊娠期間230～250日で1回のお産で赤ちゃんを1～4子生みます。乳房数は4個(2対)です。オスは5～6年、メスは4年で大人になります。



アカカンガルー

妊娠期間30～40日で1回のお産で赤ちゃんを1子生みます。赤ちゃんは、育児嚢(のう)で数カ月間育てられ2～3年で大人になります。



カナダヅル

1回の産卵数は2卵で、28～32日間親鳥にあたためられ、孵(ふ)化します。3～4年で大人になります。



フンボルトペンギン

1回の産卵数は2卵で、33～43日間親鳥にあたためられ、孵(ふ)化します。3～4年で大人になります。



from

Vet Room

獣医室から

獣医診療の進歩

医学の進歩は獣医学の進歩に裏付けされていると言っても過言ではありません。たとえば、人薬を開発するために行われる動物実験の企画・立案や結果判定の多くは製薬会社に勤務する獣医師が行っていますし、現在ヒトで実施されている人工授精や体外授精などの人工繁殖技術は、もとはと言えばウシで行われている技術の応用です。また、最近許可された脳死移植を含む手術全般も多くの動物実験の上に成り立っています。

しかし、動物の病気における実際の臨床（検査と治療など）はどうかと言えば、これまでが人間中心の世界であったため多くの部分で遅れていました。しかし、ペットブームや動物福祉運動、自然回帰指向などを反映してか、ヒトが動物達に時間とお金を掛けるようになったおかげで、獣医診療は急速に発展しました。

町のいたる所で見られる動物病院でも、最新鋭のレントゲン撮影装置やファイバースコープ（胃カメラ）、血液分析装置などの機器を使って検査や治療をするのが一般的になってきました。中にはCTスキャナーを導入している開業医さんもいます。また、動物の高齢化によって増加したと思われる悪性腫瘍（癌）の検査やヒトの抗癌剤の投与、放射線の照射、電気・レーザーメスによる外科的治療などの治療もヒトのテクニックを利用して行われるようになってきました。ヒトの場合と違って、獣医学には臨床面における、眼科、耳鼻咽喉科、歯科などの専門的な区分がありません。しかし、これらの分野の病気にも対応できるようヒト用の機器を導入したり、最新の医学情報を収集し、知識・技術を研鑽（けんくわん）しています。

これら医学・獣医学診療の影響を受け、少し

ずつではありますが、動物園における臨床面も発展しています。しかし、動物園で飼育・展示している哺乳類、鳥類、爬虫類などのほとんどが野生動物であり、自然界で生き抜くために自分の身体の異常に耐えうる構造をしているのか、本能的に異常を隠すようにしているのか、とにかく家畜以上に異常を発見するのが困難な場合にしばしば遭遇（そうごう）します。ヒトと違って野生動物は痛みを訴えようとはしません。ですから、日々



スケーラーによる歯石の除去

の行動観察がとても重要なのです。病気は早期発見・早期治療が基本ですが、異常を発見しても、即座には治療しない場合があります。というのも、野生動物は自然治療の能力が高く、治療するための捕獲・保定やその治療自体がかえって動物に過剰のストレスを与える場合もあるからです。つまり、ケースバイケース、臨機応変な対応が必要です。

実際に治療する場合、古くは個々の動物園にある過去の記録と本人の経験に加えて、サルはヒトの、オオカミはイヌの、トラはネコの、トリはニワトリのといった家畜の治療技術を応用してきました。というのも、獣医学はもともと家畜のためのものであり、現在も国内の獣医学部・学科のほとんどが野生動物医学の講座や研究室を持っていないからです。しかし、近年、国内の動物園間同士の情報交換と欧米の野生動物医学の先進諸国からの情報収集が盛んになるとともに、安価になった検査・治療機器の導入によって診療レベルは確実に上がってきました。



レントゲン撮影装置

当園でも日頃から医学・獣医学・野生動物に関する最新情報を収集しつつ、毎日の行動観察、新しい機器の導入やそれを使った定期健康診断や治療などによって、病気の早期発見・早期治療に努めています。

（飼育課：竹田正人）

5/2

●“鳥の楽園”でオシドリが産卵しました。人工ふ化させるため孵（ふ）卵器に入れました。



5/3

●ナベツルが今季初めて卵を産みました。

5/4

●サル舎でブラッサグェノンが1頭生まれました。

5/5

●夜行性動物舎でエジプトルーセットオオコウモリ5頭とフクロモモンガ1頭が生まれているのを確認しました。

5/6

●“鳥の楽園”でインドガンが今季初めて産卵しました。

5/8

●コサンケイが2羽ふ化しました。人工ふ化を試みていたものです。また、ヒツジが1頭生まれました。

5/10

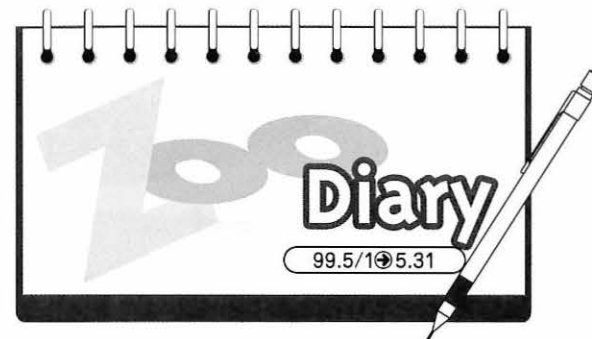
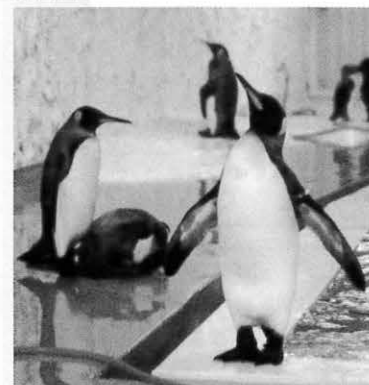
●マンドリルのオスの健康診断を行いました。レントゲン撮影や血液検査などの通常項目の他に、繁殖能力を調べるため精液検査も実施しました。

5/12

●気温が上がってきたので、寒い地域に生息しているオウサマペンギン、イワトビペンギン、マカロニペンギンを冷房のきいた屋内展示室に移動させました。

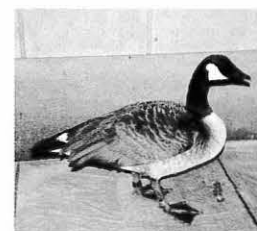
5/17

●オオカミ類に感染症予防のため、ワクチンを接種しました。



5/18

●カナダガンが1羽入園しました。検疫終了後、“鳥の楽園”で展示する予定です。



●4月18日に生まれた3頭のライオンの赤ちゃんのうち、オス2頭を富士自然動物公園（富士サファリパーク）に贈りました。

5/25

●5月17日に入園したコフラミンゴの検疫が終わったので、フラミンゴ舎で展示を始めました。

5/28

●昨年保護したキビタキや今年3月に保護したカルガモなどの鳥類5種6羽が元気になったので自然復帰させました。

5/30

●衣替えの時期に合わせて毎年恒例のヒツジの毛刈りを行いました。



5/31

●昨年6月に生まれたアミメキリンのオス“ワウダー”を横浜市立金沢動物園に送りました。

お知らせ

ZOO INFO

動物写真講座 8月8日(日)午後1~3時

募集期間●6月17日(木)~7月20日(火) 祝消印有効

会場●動物園レクチャールーム
講師●動物写真家 内山 晟 (うちやま あきら)
対象●中学生以上
参加費●1,500円
定員●60名 応募多数のときは抽選

往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を書いて下記まで応募してください（はがき1枚で2名まで申し込み可）。
〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-108
天王寺動物園「動物写真講座係」まで

天王寺公園・動物園写真コンクール作品募集

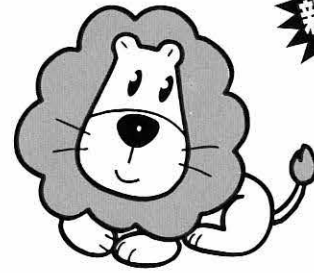
募集期間●8月31日(火)まで

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

FUJIFILM
I&I-Imaging & Information



新発売

楽しいショットを
3つのサイズで。



FUJICOLOR スーパー
スリム
APSフィルム使用

切替

撮影シーンに合わせて、
標準・ハイビジョン・パノラマのサイズを自由に切替。

- スーパースリムの手軽さにプリントサイズ選びの楽しさプラス。
- APSフィルムだからインデックスプリントも。
- 切替はファインダーも運動、見たままのフレームでパチリ。

かろうの大林

桜橋本店 ☎6341-8091
阪急三番街店 ☎6372-5031



こどものずかんシリーズ

① どうぶつえん

26.5×21cm 各巻定価 本体1,000円(税別)
全国学校図書館協議会選定

動物園にはいろんな動物を見ることができます。
ただ、単に見るだけではなく、その動物の特長や生態、
何を食べているか、またその仲間たちはどんなものか
いるかがこの本でわかります。さあ、この本を持って
もう一度動物園へいってみよう。

お求めは、お近くの書店で。

ひかりのくに株式会社 本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2 TEL.06-6768-1151 代表

狼と生きて

父 平岩米吉の思い出



平岩由伎子[編著] ●新刊
3,500円+税 ●限定1000部
狼と犬と猫の生態を研究し、動物文学
をはじめて世に紹介した平岩米吉
の波瀾に富んだ創造性豊かな生涯を
娘の眼から深く描く。
夏の旅の思い出、ふしぎな巡りあわせ、
動物画家・大崎善司、日本好きの
スーパースター博士など、名品を掲載。

平岩米吉の本

狼 その生態と歴史
2,600円+税

犬と狼
●2刷出来 2,500円+税

犬の生態
●6刷 2,000円+税

犬の行動と心理
●4刷 2,000円+税

私の犬
2,200円+税

猫の歴史と奇話
2,200円+税

動物文学 復刻版 [全10巻+補巻・索引]

174,757円+税 ●限定300部(分売不可)
南方熊楠、柳田国男、小川未明……錚々たる執筆陣が数々の
作品・論考を寄稿し発表した幻の戦時中資料。

築地書館 〒104-0045 東京都中央区築地7-4-4-201 TEL03-3542-3731 FAX03-3541-5799 (発送料一律400円)
●ご注文は、最寄りの書店または直接上記宛先まで。E-mail Address= JDH07647@niftyserve.or.jp



マスターのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

〒561-0856
大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06) 6865-0165
(株)増田食品

新作

貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

天王寺動物園の本

入園の記念・手引に……

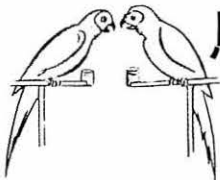


オールカラー
500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)6771-0201



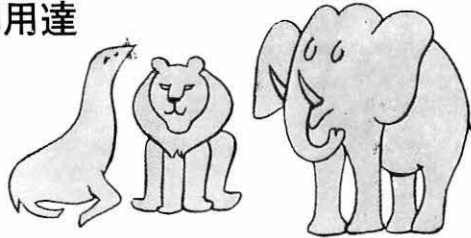
近畿 コカ・コーラ ボトリング 株式会社
KINKI COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. (コカ・コーラ 指定会社)
Coca-Cola と Coke は The Coca-Cola Company の登録商標です



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

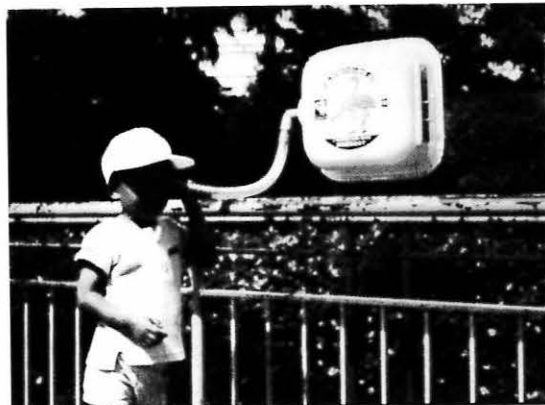


有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話06-6762-2333
1回 30円

動物園内での
お食事、
ご休憩は



動物園内.....

中央売店

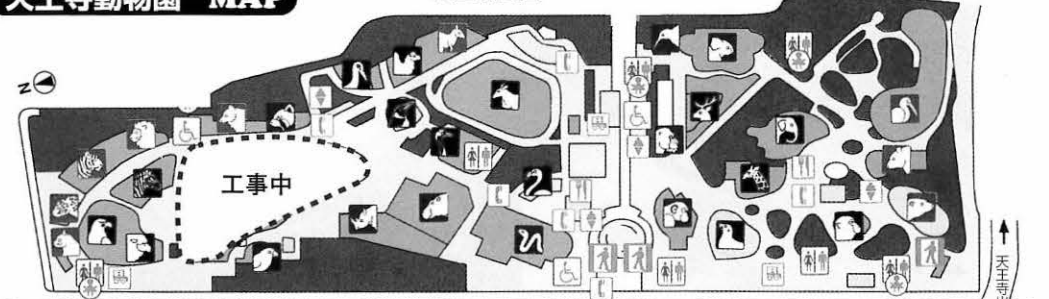
TEL06-6771-0973

お食事・飲み物・おみやげ 動物園内
南園売店 TEL06-6771-7110



天王寺動物園 MAP

天王寺公園



阪神高速松原線

動物園入口

- 入園料 動物園/大人500円 公園/大人150円 中学生以下、65歳以上無料
- 開園時間 午前9時30分～午後5時(入園は4時まで)
- 休園日 毎週月曜日(月曜日が休日に当たる場合は翌日休園)

大阪市天王寺動植物公園事務所 〒543-0063大阪市天王寺区茶臼山町1-108 TEL.06-6771-8401

365日、毎日毎日骨太に。



牛乳のカルシウム吸収のよさそのままに、
1本で1日分のカルシウム。



カルシウムを摂るなら牛乳や乳製品が理想的。それは、牛乳のカルシウムは、とても体に吸収されやすいからです。この牛乳のカルシウム吸収のよさはそのままに、カルシウムの量を600mg (成人1日あたりの所要量) までアップさせた、雪印毎日骨太。日本人に不足しがちなカルシウムを、効率よく補給するために、ぜひ毎日お召し上がりください。



雪印毎日骨太

300ml・100円/希望小売価格(税別)



ほんとに楽しいネ!

中央デッキ下

一日、愉快地のしめる

◎園内2カ所(中央デッキ下・南園高架下)に、各種のりものがあります。



南園高架下

久竹娛樂株式会社
TEL(06)4397-0100(代)

編集委員

中尾啓一/中川哲男/石井 等/藤田四郎/沖田紀行/山崎道正/長瀬健二郎/谷森 進/長澤英資/森本委利/高橋雅之/市川久雄
竹田正人/高見一利/満 勇二/松岡秀和/萩原祐二/坂本 全/山元貞幸/野口秀高/大野尊信/早川 篤/西村慶太/油家謙二